

園芸経営プラン

住所	
氏名	
プラン作成 年月日	令和 年 月 日
目標年度	令和 年度

1. 園芸経営プラン策定者について

プランの作成にかかる 認定農業者等の経歴	氏名 (組織名)			年齢(生年月日) (法人設立年月)		
	住所			連絡先	TEL : FAX :	
	e-mail			HPアドレス	http://www~	
	【経営方針】					
	経営改善 計画の 認定	市町名				
		認定年月日				
	その他認定資格等					

2. 園芸導入の方向性

中期目標	
長期目標	

※ 具体的な数字で目標を設定する。(記入例：販売金額〇〇円を目指す。所得〇〇円アップを目指す。等)

※ 中期目標は事業の目標年度のことについて、長期目標は10年後のことについて記載する

※ 事業の目標年度：野菜や花きに取り組む場合、事業実施年度を1年目と数えて3年目とし、果樹に取り組む場合は5年目とする。

【目標設定の背景・意向】

◎目標達成のためにどうするか？

【栽培（品目の選定・面積等）】

【経営（労働力の確保、作業の効率化等）】

【その他】

3. 規模拡大に向けた計画

(1) 労働力

①家族労働力

	氏名	年齢	経営主との続柄等	農業従事日数 (日/年)	備 考 (主な作業)
現状 (R)					
目標 (R)					

②雇用労働力

	形態	実人数 (人/年)	のべ人数 (人/年)	のべ時間 (時間/年)	備 考 (主な作業)
現状 (R)	常時雇 (うち園芸)	()	()	()	
	臨時雇 (うち園芸)	()	()	()	
目標 (R)	常時雇 (うち園芸)	()	()	()	
	臨時雇 (うち園芸)	()	()	()	

(3) 農地利用

	(a)	田	普通畑	樹園地	施設	その他	合計	備 考
現状 (R)	所有地						0	
	借入地						0	
目標 (R)	所有地						0	
	借入地						0	

(4) 資金調達

年度	補助事業名または 導入機械等	事業費 (円)	補助金額 (円)			補助残額 (自己負担額)	資金調達計画	
			国	県	市町		借入金	金融機関等
						0		
						0		
						0		

* 未来に繋ぐふくい農業応援事業以外の補助事業や自己資金で導入する機械等がある場合にも記載する

* 1つの補助事業で複数の機械等を整備した場合はまとめて1行で記載する

(5) 生産販売等

区分	品目・作型等	面積 (a)	販売量 (t・本)	販売額 (千円)	販売先	出荷時期
現状 (R)	園芸部門					
		計	0.0	0.0	0	-
	作物部門					
		計	0.0	0.0	0	-
	その他					
		計	0.0	0.0	0	-
	合 計	0.0	-	0	-	-
目標 ○年目 (R)	園芸部門					
		計	0.0	0.0	0	-
	作物部門					
		計	0.0	0.0	0	-
	その他					
		計	0.0	0.0	0	-
	合 計	0.0	-	0	-	-

4. 収支目標（園芸部門に限る）

(単位：千円)

	収 入		支 出		各費目が支出に 占める割合	
	項 目	金 額	費 目	金 額		
現状 (R)			生産資材費 諸材料費 減価償却費 販売費 雇人費 福利厚生費 事務通信費 動力光熱費 雑費			
	計		計		所得	#VALUE!
目標 (R)			生産資材費 諸材料費 減価償却費 販売費 雇人費 福利厚生費 事務通信費 動力光熱費 雑費			
	計		計		所得	#VALUE!

(別添 目標年度における年間体系（作型、雇用）計画
未来に繋ぐふくいの農業応援事業（園芸支援）実施計画書（案）

別添 事業の目標年度における年間体系(作型、雇用)計画

[illegible]

*圃場・施設別に主な作業内容を記載する。ただし、同じ作付を行うものについてはまとめて記入できる。

*月ごとに労働力を記載する。(例:○時間、h/日×○日/月×○人) のべ日数は1日8時間として換算する。

のべ日数の計算方法: (例) 家族労働力3人①8h×20日、②4h×20日、③6h×20日 →合計360h÷8=45日

*枚数が複数にわたる場合は、1枚目に労働力内訳とのべ月別労働日数を記入する。